

学校経営方針

四万十町立川口小学校

1. 教育方針

- (1) 学校経営の中心は子どもである。小規模校のよさを活かし、子どもが輝く学校づくりに努める。
- (2) 21世紀をたくましく生き抜く、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成に努める。
- (3) 子どもたち一人ひとりの個性を尊重しながら、心身ともに健康で確かな学力と豊かな人間性・社会性を備えた児童の育成に努める。
- (4) 授業力の向上をめざし、創造的な指導方法の改善に取組、生きる力としての基礎学力の定着・充実に努める。
- (5) 家庭・地域との連携を強化し、地域の特色を活かし、信頼される学校づくりに努める。
- (6) 教育への情熱と使命感をもち、自己研鑽に励み、教育目標の具現化へ向け、全教職員が組織的に学校経営に参画する。

2. 学校教育目標

心豊かで、たくましく、自ら学ぶ児童の育成

3. 川口小学校の求める像

(1) めざす学校像

- ①一人ひとりの子どもの居場所がある学校
- ②教職員が協働して教育活動を行っていく学校
- ③保護者や地域から信頼される学校

(2) めざす子ども像・・・進んで自ら学び、互いに認めあえる子

- ①「確かな学力」・・・よく考え、意欲的・主体的に学びあう子
- ②「豊かな心」・・・自分も友達も大切にし、心豊かで思いやりのある素直な子
- ③「健やかな体」・・・健康でたくましく生き抜く心と身体をもつ子

4. 学校経営

全教職員が経営的視点に立ち、学校教育目標の実現を目指す。

1、子どもを活かす学校づくり

- (1) 児童が自ら学ぼうとする意欲や態度を高める、楽しく分かる授業の工夫に努める。
- (2) 基礎基本の確かな力を培うための個に応じたきめ細かな指導方法の工夫に努める。
- (3) 生命尊重を基調とした教育活動を推進し、「いじめ・差別・暴力」を絶対に許さない、人の痛みがわかり思いやりのある心豊かな子どもの育成に努める。
- (4) 自主・協働の喜びと充実味の味をえる集団活動を創造し、豊かな関わりを体験させ、コミュニケーション力のある意欲的な子を育てる。
- (5) 社会性の育成を重視し、敬愛と信頼に満ちた人間関係を育てる。
- (6) 日常生活の充実向上を図り、健康で安全な生活習慣の形成に努める。

2、組織を活かす特色ある学校づくり

- (1) 指導計画に基づく、学習指導要領の指導内容の確実な実施と、指導方法の構築・改善を図る（PDCAサイクルを活用した授業改善）。
- (2) 本校の特色を生かした教育課程を編成する。特に、「複式教育」について研究を深めることを通して、本校教育の充実を図っていく。
- (3) 教職員の特性、持ち味を大切に、それを活かすとともに、創造性を培う雰囲気をつくり、担当した分掌は責任を持って企画・立案・実行できる、学校組織としての力が機能する職場づくりをする。
- (4) 授業の質の向上を図るため、校内研修を充実させる。
- (5) 「わかる授業、楽しい授業」を通して、基礎・基本の内容を一人ひとりの子どもに確実に身につけさせるとともに、子どものよさや個性を生かすことのできる教育に努める。
- (6) 学級が、どの子どもにとっても安心で安全な居場所となり、学び、高め合う集団となるよう、学級経営の研究と実践に努める。

3、地域を活かす学校づくり

- (1) 保護者及び地域社会との連携を密にし、相互理解と信頼をもとに、ともに児童を育てる（地域学校協働本部の活動）学校づくりの推進に努める。
- (2) 学校評価を活用し、地域の人が学校に来たくなる開かれた学校づくりに努める。

5. 学校経営の重点

(1) 確かな学力をつける取組

- ◆基礎・基本の定着を図り、確かな学力をつける取組
 - ・授業スタンダードに取り組む。
 - ・特別な配慮を必要とする児童への個別学習支援を行う。
 - ・自ら意欲的・主体的に学び考えて行動する力の育成
 - ・誰もが分かる楽しい授業実践を組織的に行う。
 - ・ICTを有効に活用した授業づくりやプログラミング教育の充実を図る。
- ◆表現力を育てる場を計画的に設定する。
 - ・話す・聞く、話し合い活動での習慣化の育成
 - ・作文教育の推進（日記、活動の感想、文集）
 - ・授業ノートづくりを丁寧に指導する。（作文・日記・新聞づくり 等）
- ◆読書活動の推進
 - ・学校図書室の活用を図る。
- ◆個々の教員の授業力を高める。
 - ・授業公開する機会を多くし、互いの研鑽を深め、自らの取組を理解してもらい授業力を高める機会とする。

(2) 心豊かにたくましく生きるための取組

- ◆豊かな人間性を育む教育を充実させ、子ども達の人間関係づくりに取り組む。
 - ・道徳教育、人権教育、特別活動、生徒指導等あらゆる場で子ども同士の人間関係を深めるようにする。
- ◆認め合い高め合う学級集団をつくる。
 - ・Q-Uによる児童理解を図り学級状況の確認とよりよい状況をつくるための手立てを行う。（構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニング等の実施）
 - ・いじめや差別を許さない学級・学校づくりに努める。
- ◆規律のある学級・学校にする。
 - ・決められたルールはきちんと守る、守らせることを教職員間で確認し、同じスタンスで指導する。学校としての方向性を大切にする。
- ◆基本的生活習慣を身につけ、規則正しく、健康で安全な生活をする子どもを育成する。
 - ・自らの健康や命を守る力の育成と安全教育・食育の充実努める。
 - ・体育の時間や体育的行事を通して、体力の向上に努める。

(3) 保護者・地域との連携・協働

- ◆人的環境を豊かにする。
 - ・地域や保護者・関係機関の方々に外部講師をお願いするなど人材を活用し、教育を豊かにする。
- ◆物的環境を整備する。
 - ・整理整頓、清掃活動、整備活動を大切にし、教室や廊下の掲示物や校庭等、常に美しく保つよう努める。
- ◆社会的環境を豊かにする。(学校運営協議会 地域学校協働本部)
 - ・安心・安全な学校づくり・・・防災・減災への取組 (防災学習・防災訓練)
 - ・地域に目を向ける取組を教育の中に取り入れるよう努める。
(総合的な学習の時間や教科活動の時間等)
- ◆家庭・地域・中学校ブロックとの連携 (子どもの健やかな成長を図る情報の共有)
 - ・地域、民生児童委員、地域ボランティア、教育研究所、警察等関係機関等と連携する。